

発行日: 2024-04-17

改訂日: 2024-07-17
バージョン 2

1: 化学品及び会社情報

製品名	SimpleChIP® Enzymatic Chromatin IP Kit (Agarose Beads)
製品番号	9002
キット構成要素	7005: Glycine Solution (10X) 7006: Buffer A (4X) 7007: Buffer B (4X) 7008: ChIP Buffer (10X) 7009: ChIP Elution Buffer (2X) 7010: 5 M NaCl 7011: 0.5 M EDTA, pH 8.0 9007: ChIP-Grade Protein G Agarose Beads 10007: DNA Binding Buffer 10008: DNA Wash Buffer 10009: DNA Elution Buffer 10010: DNA Purification Columns and Collection Tubes 7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X) 7013: RNase A (10 mg/ml) 7014: SimpleChIP® Human RPL30 Exon 3 Primers 7015: SimpleChIP® Mouse RPL30 Intron 2 Primers 7016: DTT (Dithiothreitol) 10011: Micrococcal Nuclease 10012: Proteinase K 4620: Histone H3 (D2B12) XP® Rabbit mAb (ChIP Formulated) 2729: Normal Rabbit IgG

安全データシートの提供者の詳細

製造業者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

販売業社

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途及び使用上の制限 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS - 分類

引火性液体	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1
区分 1 中枢神経系	
区分 2 呼吸器	
区分 3 呼吸器刺激性	

特定標的臓器・全身毒性 (反復)	区分 1
区分 1 血液系	
区分 2 呼吸器、肝臓、脾臓	
急性水生毒性	区分 2
慢性水生毒性	区分 2

ラベル要素



注意喚起語
危険

危険有害性情報

- H225 - 引火性の高い液体及び蒸気
- H319 - 強い眼刺激
- H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- H370 - 臓器の障害
- H372 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害
- H401 - 水生生物に毒性
- H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。環境への放出を避けること。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

対応 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

火災の場合: 消火するために粉末消火剤、CO2(二酸化炭素)、水噴霧又は耐アルコール泡消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

Kit Component 7005: Glycine Solution (10X)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 7006: Buffer A (4X)

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
ポリ(オキシエチレン)= (1,1,3,3-テトラメチルブチル)	1-5	7-172		9036-19-5

エニル=エーテル				
----------	--	--	--	--

キット構成要素 7007: Buffer B (4X)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 7008: ChIP Buffer (10X)

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	5-10	-	-	9002-93-1
エチレンジアミン四酢酸二ナト リウム	1-<5	-	-	6381-92-6
ドデシル硫酸ナトリウム	0.1-1	-	(2)-1679,(2)-1675	151-21-3

キット構成要素 7009: ChIP Elution Buffer (2X)

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
ドデシル硫酸ナトリウム	1-<3	-	(2)-1679,(2)-1675	151-21-3

キット構成要素 7010: 5 M NaCl
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 7011: 0.5 M EDTA, pH 8.0

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
エチレンジアミン四酢酸二ナト リウム	10-30	-	-	6381-92-6

キット構成要素 9007: ChIP-Grade Protein G Agarose Beads
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 10007: DNA Binding Buffer

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
グアニジン・塩酸塩	30-60	-	-	50-01-1
イソプロピルアルコール	30-60	-	2-(8)-319	67-63-0

キット構成要素 10008: DNA Wash Buffer
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 10009: DNA Elution Buffer
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 10010: DNA Purification Columns and Collection Tubes
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X)

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
ジメチルスルホキシド	60-100	(2)-1553	(2)-1553	67-68-5

キット構成要素 7013: RNase A (10 mg/ml)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素 7014: SimpleChIP® Human RPL30 Exon 3 Primers
7015: SimpleChIP® Mouse RPL30 Intron 2 Primers
適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット構成要素	7016: DTT (Dithiothreitol)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。	
キット構成要素	10011: Micrococcal Nuclease
適用法令により開示が必要とされる成分はない。	
キット構成要素	10012: Proteinase K
適用法令により開示が必要とされる成分はない。	
キット構成要素	4620: Histone H3 (D2B12) XP® Rabbit mAb (ChIP Formulated)
適用法令により開示が必要とされる成分はない。	
キット構成要素	2729: Normal Rabbit IgG
適用法令により開示が必要とされる成分はない。	

4. 応急措置

吸入した場合	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。洗っている間、目を大きく開くこと。刺激が続く場合、医師を呼ぶ。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。
予想される急性症状及び遅発性症状	アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。皮膚、眼、及び呼吸器への刺激のおそれ。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 水スプレーで容器/タンクを冷却すること 粉末消火剤 二酸化炭素(CO2) 耐アルコール泡消火剤
使ってはならない消火剤	火災を広げるおそれがあるので、棒状水を使用しないこと
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
引火性の特性	引火性液体
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人員を安全な区域に避難させること。全ての点火源を排除すること(近接区域では喫煙とし、裸火、火花または火炎を排除する)。静電気に対する予防措置を講ずる。十分換気されているか確認すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を使用する。適切な保護衣を着用している場合を除き、損傷した容器や漏出物には触らないこと。
緊急措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。地下水を汚染してはならない。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	漏出液を砂、土またはその他の不燃性の吸着材料で覆うこと。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。静電気に対する予防措置を講ずる。耐炎性装置のある場所でのみ使うこと。包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。保護具を着用する。裸火、高温面および着火源から遠ざけること。十分換気されているか確認すること。蒸気、ミスト、エアロゾルの発生を防ぐ。汚染された衣類および靴を脱ぐこと。布や紙など流出物を取り除くのに使われ、物質を吸収したすべてのものは危険である。それらを溜めておかず、使用后すぐに安全に廃棄すること。
-----------------	---

保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
-------------	-------------------------------

8. ばく露防止及び保護措置

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム
--------------	----------------------------

ばく露ガイドライン

化学物質名	日本産業衛生学会	ISHL作業環境評価基準 - 管理制御レベル	ACGIH TLV
イソプロピルアルコール 67-63-0	Ceiling: 400 ppm Ceiling: 980 mg/m ³ ISHL/ACL: 200 ppm		STEL 400 ppm TWA : 200 ppm

生物学的職業性ばく露限界値

化学物質名	日本産業衛生学会	ACGIH
イソプロピルアルコール 67-63-0		40

環境ばく露防止	情報なし
----------------	------

個人用保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合には呼吸用保護具を着用すること。
---------------	---------------------------

手の保護	不浸透性手袋
眼/顔面の保護	密着性の高い安全ゴーグル 飛散が起こりそうな場合に着用 顔面シールド
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的的特性に関する情報

キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7005: Glycine Solution (10X) 液体 透明 無色 6.58 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7006: Buffer A (4X) 液体 透明 無色 7.5 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7007: Buffer B (4X) 液体 透明 無色 7.5 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7008: ChIP Buffer (10X) 液体 透明 無色 8.1 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7009: ChIP Elution Buffer (2X) 液体 透明 無色 7.5 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7010: 5M NaCl 液体 透明 無色 5.35 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色 pH	7011: 0.5 M EDTA, pH 8.0 液体 透明 無色 8 (20 °C)
キット 構成要素 物理的状态 外観 色	9007: ChIP-Grade Protein G Agarose Beads 液体 懸濁液 オフホワイト ~ 白

キット 構成要素	10007: DNA Binding Buffer
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
臭い	アルコールのような臭い
pH	7.0 (20 °C)
Flash point (°C)	>=21
自然発火温度 (°C)	425
爆発下限界	2%
爆発上限界	12%
キット 構成要素	10008: DNA Wash Buffer
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
pH	7.7 (20 °C)
キット 構成要素	10009: DNA Elution Buffer
物理的状态	液体
pH	8.5 (20 °C)
キット 構成要素	10010: DNA Purification Columns and Collection Tubes
物理的状态	固体
キット 構成要素	7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X)
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
臭い	硫黄
pH	7 (20 °C)
Flash point (°C)	87°C
爆発下限界	3.5%
爆発上限界	42%
キット 構成要素	7013: RNase A (10 mg/ml)
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
pH	7.6 (20 °C)
キット 構成要素	10011: Micrococcal Nuclease
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
pH	7.5 (25 °C)
キット 構成要素	10012: Proteinase K (20 mg/ml)
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
キット 構成要素	7014: SimpleChIP® Human RPL30 Exon 3 Primers
物理的状态	液体
外觀	透明
色	無色
キット 構成要素	7015: SimpleChIP® Mouse RPL30 Intron 2 Primers
物理的状态	液体
外觀	透明

色	無色
キット構成要素	4620: Histone H3 (D2B12) XP® Rabbit mAb (ChIP Formulated)
物理的状态	液体
外観	透明
色	無色
pH	7.5 (20 °C)
キット構成要素	2729: Normal Rabbit IgG
物理的状态	液体
外観	透明
色	無色
pH	7.5 (20 °C)
キット構成要素	7016: DTT (Dithiothreitol)
物理的状态	固体
外観	粉末
色	白色

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない
避けるべき条件	極度の温度と直射日光 熱、炎および火花 長期間にわたって、アジ化ナトリウムは配管システム内の銅、鉛、真鍮、またははんだと反応して、爆発性の高いアジ化鉛およびアジ化銅の化合物の蓄積を形成する可能性があります。
混蝕危険生成物	強酸、強塩基、酸化剤、漂白剤
危険有害な分解生成物	熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50 吸入
ジメチルスルホキシド	= 14500 mg/kg (Rat) = 28300 mg/kg (Rat)	= 40 g/kg (Rat)	> 5.33 mg/L (Rat) 4 h
イソプロピルアルコール	5000 mg/kg (Rat)	12800 mg/kg (Rabbit)	16000 ppm (Rat) 8h
グアニジン 塩酸塩	475 mg/kg (Rat)	-	-
ポリ(オキシエチレン) = p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	= 1800 mg/kg (Rat)	-	-
ポリ(オキシエチレン) = (1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	1700 mg/kg (Rat)	-	-
ドデシル硫酸ナトリウム	= 1288 mg/kg (Rat)	= 200 mg/kg (Rabbit)	> 3900 mg/m ³ (Rat) 1 h

症状	アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある。過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。皮膚、眼、及び呼吸器への刺激のおそれ。
----	--

製品情報

経口

キット 構成要素
経口 10007: DNA Binding Buffer
飲み込むと有害のおそれ

吸入

キット 構成要素
吸入 10007: DNA Binding Buffer
眠気又はめまいのおそれ

キット 構成要素
吸入 7008: ChIP Buffer (10X)
気道刺激を引き起こすおそれがある

キット 構成要素
吸入 7009: ChIP Elution Buffer (2X)
気道刺激を引き起こすおそれがある

皮膚腐蝕性/刺激性

キット 構成要素
皮膚腐蝕性 / 刺激性 7008: ChIP Buffer (10X)
軽微な刺激のおそれ

キット 構成要素
皮膚腐蝕性 / 刺激性 10007: DNA Binding Buffer
軽微な刺激のおそれ

キット 構成要素
皮膚腐蝕性 / 刺激性 7016: DTT (Dithiothreitol)
軽微な刺激のおそれ

眼に対する重篤な損傷/刺激性

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 7006: Buffer A (4X)
一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 7008: ChIP Buffer (10X)
刺激を生じるおそれ

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 7009: ChIP Elution Buffer (2X)
成分に基づき、刺激物であると予想される

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 7011: 0.5 M EDTA, pH 8.0
一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 10007: DNA Binding Buffer
刺激を生じるおそれ

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 7016: DTT (Dithiothreitol)
刺激を生じるおそれ

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

情報なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 7008: ChIP Buffer (10X)
眼を刺激する

キット構成要素 7009: ChIP Elution Buffer (2X)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 眼を刺激する

キット構成要素 10007: DNA Binding Buffer
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 眼を刺激する

呼吸器感受性または皮膚感受性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性

化学物質名	日本	IARC
イソプロピルアルコール 67-63-0		3

生殖毒性

キット構成要素 10007: DNA Binding Buffer
Reproductive toxicity 生殖毒素であることが知られている、または生殖毒素であることが疑われる物質を含んでいる

特定標的臓器・全身毒性(単回) 臓器の障害

特定標的臓器・全身毒性(反復) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

キット構成要素 10007: DNA Binding Buffer
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 呼吸器、血液系、肝臓、脾臓
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 中枢神経系

キット構成要素 7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X)
その他の有害影響 他の材料の皮膚吸収を加速することがあります。有毒物質が原因で強化された皮膚吸収のジメチルスルホキシド中に存在する場合、特別な注意が必要としていました。

キット構成要素 7011: 0.5 M EDTA, pH 8.0
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 呼吸器

吸引性呼吸器有害性 情報なし

12: 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

成分情報

化学物質名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	ミジンコおよび他の水生無脊椎動物に対する毒性
ジメチルスルホキシド	EC50 12350 - 25500 mg/L (Skeletonema costatum) 96 h	LC50 34000 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 41.7 g/L (Cyprinus carpio) 96 h LC50 40 g/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 33 - 37 g/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h	EC50 7000 mg/L (Daphnia species) 24 h
イソプロピルアルコール	EC50 1000 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 96 h EC50 1000 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 72 h	LC50 9640 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 1400000 µg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50	EC50 13299 mg/L (Daphnia magna) 48 h

		11130 mg/L (Pimephales promelas) 96 h	
グアニジン 塩酸塩	-	LC50 1758 mg/L (Leuciscus idus) 48 h	-
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	-	LC50 8.9 mg/l (Pimephales promelas) 96 h	EC50 26 mg/l (Daphnia) 48 h
ポリ(オキシエチレン)=(1,1,3,3-テ トラメチルブチル)フェニル=エー テル	EC50 0.21 mg/L (Selenastrum) 96 h	LC50 7.2 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h	LC50 8.6 mg/L (Daphnia magna) 48 h
ドデシル硫酸ナトリウム	EC50 53 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 72 h EC50 30 - 100 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 96 h EC50 42 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 96 h EC50 3.59 - 15.6 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata) 96 h EC50 117 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata) 96 h	LC50 8 - 12.5 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 4.1 mg/L (Leuciscus idus) 48 h LC50 22.1 - 22.8 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 4.3 - 8.5 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 4.62 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 4.2 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 7.97 mg/L (Brachydanio rerio) 96 h LC50 9.9 - 20.1 mg/L (Brachydanio rerio) 96 h LC50 4.06 - 5.75 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 4.2 - 4.8 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 4.5 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 5.8 - 7.5 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 10.2 - 22.5 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 6.2 - 9.6 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 13.5 - 18.3 mg/L (Poecilia reticulata) 96 h LC50 10.8 - 16.6 mg/L (Poecilia reticulata) 96 h LC50 1.31 mg/L (Cyprinus carpio) 96 h LC50 15 - 18.9 mg/L (Pimephales promelas) 96 h	EC50 21.2 mg/L (Daphnia magna) 24 h EC50 1.8 mg/L (Daphnia magna) 48 h

残留性・分解性

キット 構成要素
残留性・分解性

7006: Buffer A (4X)
難分解性

キット 構成要素
残留性・分解性

7007: Buffer B (4X)
易生分解性

キット 構成要素
残留性・分解性

7008: ChIP Buffer (10X)
難分解性

キット 構成要素
残留性・分解性

10007: DNA Binding Buffer
易生物分解性

生物蓄積

キット 構成要素
生物蓄積

7007: Buffer B (4X)
生物濃縮される可能性は低い

キット 構成要素
生物蓄積

10007: DNA Binding Buffer
生物濃縮される可能性は低い

キット 構成要素
生物蓄積

7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X)
生物濃縮される可能性は低い

化学物質名	オクタノール/水分係数
ジメチルスルホキシド	-2.03
イソプロピルアルコール	0.05
グアニジン・塩酸塩	-1.7
ドデシル硫酸ナトリウム	1.6

移動性

キット 構成要素
移動性

7012: Protease Inhibitor Cocktail (200X)
水溶性のため環境中で移動性になる可能性がある

その他の有害影響

内分泌かく乱物質情報 内分泌かく乱物質であることが知られている、又は疑われる物質を含む。

化学物質名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本 - 内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-
ポリ(オキシエチレン)= (1,1,3,3-テトラメチルブチル)フ ェニル=エーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染された梱包 空容器を再利用しないこと。

14: 輸送上の注意

IMDG/IMO

国連番号 UN3316
国連輸送名 Chemical Kit
輸送における危険有害性クラス 9
容器等級 II

ADR/RID

国連番号 UN3316
国連輸送名 Chemical Kit
輸送における危険有害性クラス 9
容器等級 II

IATA

国連番号 UN3316
国連輸送名 Chemical Kit
輸送における危険有害性クラス 9
容器等級 II

日本

国連番号 UN3316
国連輸送名 Chemical Kit
輸送における危険有害性クラス 9
容器等級 II

15: 適用法令

化学物質又は混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国際規則

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

化学物質名	含有率 %	区分	管理番号
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	5-10	第1種指定化学物質	408
ポリ(オキシエチレン)=(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9036-19-5	1-5	第1種指定化学物質	408
ドデシル硫酸ナトリウム 151-21-3	1-<3	第1種指定化学物質	275
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム 6381-92-6	10-30	第1種指定化学物質	595

労働安全衛生法

化学物質名	区分	含有率 %
ジメチルスルホキシド 67-68-5	安衛法表示対象物質 (令和8年4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	60-100
イソプロピルアルコール 67-63-0	安衛法表示対象物質	30-60
グアニジン・塩酸塩 50-01-1	安衛法表示対象物質 (令和8年4月1日以降)	30-60
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	安衛法表示対象物質 (令和8年4月1日以降)	5-10
ポリ(オキシエチレン)=(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9036-19-5	安衛法表示対象物質 (令和8年4月1日以降)	1-5
ドデシル硫酸ナトリウム 151-21-3	安衛法表示対象物質 (令和7年4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	1-<3

16: その他の情報

発行日: 2024-04-17

改訂日: 2024-07-17

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

Ceiling:

最大限值:

* 皮膚兆候

+

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA (環境保護庁)
急性暴露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本GHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(国立労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
RTECS (化学物質毒性データ総覧)
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終